# 高津区役所では「マンションにおけるつながりづくり支援事業」を 関係機関、団体等と連携し、今後も継続していきます。



マンション居住者同士や周辺地域との良好な関係が築かれ、 それぞれの課題解決に向けた取組が促進されるよう支援します。

区内分譲マンションにおける コミュニティの実態把握、 課題認識等の把握

マンションにおけるつながりづくりに 役立つ講演会や福祉・防災等に関する 出前講座の実施など啓発活動

マンション間や周辺地域 との交流促進

つながリづくリの取組や 立ち上げ等に対する 必要な相談、支援

つながリづくリの 好事例に関する情報提供

## 相談先一覧

マンションの維持・管理、防災、町内会・自治会、高齢者・子育て支援等で困ったことがある方は、 以下にお気軽にご相談ください。

### 福祉に関すること

高齢者や子育て世代の居場所作り、健康づくりや 子育て相談、心配な様子の人等

## 高津区役所地域支援担当(区役所3階)

□ 高津地区 Tel. 044-861-3315

Fax. 044-861-3307 □ 橘 地区 Tel. 044-861-3316

## 防災に関すること

居住者向けの防災ミニ講座の開催、マンションで の防災訓練、防災の取組方法、自主防災組織等

## 高津区役所危機管理担当(区役所2階)

Tel. 044-861-3146 Fax. 044-861-3103

### 町内会・自治会に関すること

マンションの管理に関すること

トワークの作り方、管理組合の活動支援等

自治会の作り方、地元の町内会・自治会への加 入、地元の町内会、自治会との連携・交流等

建物の維持管理や修繕・改修、マンション間のネッ

### 高津区役所地域振興課(区役所2階)

Tel. 044-861-3144 Fax. 044-861-3103

橘出張所 Tel. 044-777-2355 Fax. 044-777-4299

# 川崎市まちづくリ局住宅政策部住宅整備推進課

Tel. 044-200-2996 Fax. 044-200-3970

※川崎市では、分譲マンションの適正な維持・管理などのためマンション 管理組合を支援する制度として「川崎市マンション管理組合登録制度」

# Webサイト http://www.city.kawasaki.jp/500/page/0000067659.html

川崎市まちづくリ公社ハウジングサロン Tel. 044-822-9380 Fax. 044-819-4320

※予約受付 毎週火~十曜日(火~金の祝日及び年末年始は休み) 9時~12時·13時~16時

Webサイト http://www.machidukuri.or.jp/jsoudan/salon/ ロシロ

## NPO法人かわさきマンション管理組合ネットワーク



### 行:平成31(2019)年3月

編集・発行:高津区役所地域みまもリ支援センター地域ケア推進担当 Tel. 044-861-3313/Fax. 044-861-3307 



高津区では、マンションにおけるつながりづくりを進めています。



高津区役所では、分譲マンションにおけるコミュニティ活動の実態や課題認識等を明らかにするため、平成30年度に区 内4カ所の分譲マンションにお住まいの方向けのアンケート調査、講演会・交流会を実施しました。それらから明らかに なった課題と、課題解決に向けた取組み例についてまとめました。



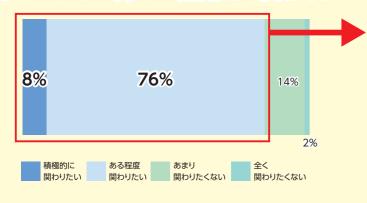


# 安心して暮らし続けるため、いざというときのため マンションの防災対策は一人ではできません 日頃からのマンション内での つながりが重要です

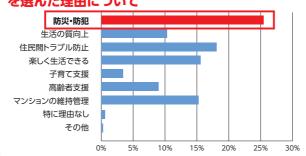


区内4カ所のマンション住民向けに、マンションでの交流状況やつながりづくりについてうかがったアンケート調査によると、全体の8割以上の方が何らかのかたちでマンション内で「関わりをもちたい」と回答。その理由は防災・防犯への対応がトップを占めました。マンション内の行事でも防災・避難訓練へ参加してみたい・関心があるとの回答が3分の1を占めました。

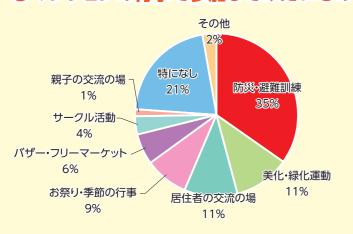
## ●マンション内のご近所との関わりについてどのように考えますか?



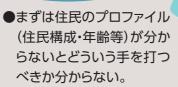
### 「積極的に関わりたい、ある程度関わりたい」 を選んだ理由について

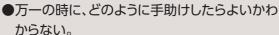


## ●マンションの行事で参加してみたいもの



# 災害時の対応で 不安なこと



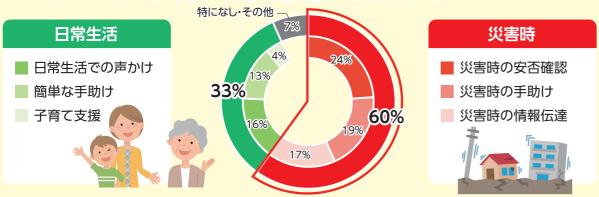


●子どもだけの時、災害があったらどうするか。

### マンション内で周りの方の手助けをできるという回答が9割以上。

手助けできる内容は、安否確認など<mark>災害時の手助け</mark>が6割、日常生活での声かけや手助けが3割強。いざというときの対応をスムーズにするためには、日頃からのつながりが欠かせません。

## ●マンションのなかで、周りの方を手助けできますか?



## 大規模災害など、いざというときに備えてマンション住民が日頃からできること、やっておくべ

きことをテーマに講演会・交流会を開催。「マンション設備」、「災害対策物資」に留まらず、住民同士や地域住民との「日頃のつながり」にもスポットをあてて参加者同士のグループワークを開催するとともに、先進的な取組を確認しました。 (講師:マンション防災士 釜石 徹 氏)

## 提起された 課題

#### 災害へ備えるために

日頃からおつきあいを深めることが重要ですが、そのためのきっかけやリーダーシップが課題です。

住民がどのような方なのか (年齢・居住人数など)、 個人情報保護の壁もあり わかっていません。

顔を知らない人もいるなど、 マンション全体で統一した 動きがとりづらいです。



防災活動は理事会・自治会の バックアップが欠かせません。 普段からの連携・アピールと自治会自体の 運営強化が必要です。



## 事例から見る解決のヒント



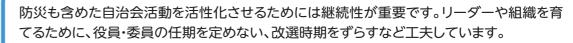
「心配事はないですか?」と、一人ひとりの意見が出てくるまで何回も確認することが大事です。アンケートも1家に1枚ずつ回答してもらうのではなく、一人ひとりの意見を書いてもらいます。特に子どもからの意見には気付かされることが多いです。

理事会などを通じた日頃のつきあいが、防災活動や組織化に向けた意識づくりの基本となっています。住民同士が「顔見知り」になることから始めました。





防災や自治会活動をマンション内部に発信するためニュースレターや、Web、SNSを活用。 住民の声を活動に取り入れるためグループワークを開催しています。







防災活動には専門知識も必要です。マンション住民の中で救命活動や衛生管理などの経験をもった方がいたら、参加してもらうよう呼びかけています。

個人情報は管理会社に委託する、閲覧ルールがあることをアピールしています。発災時に必要な情報だけマップ化するなど、分かりやすさとプライバシーに配慮しています。

